

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第13回理事会議事録

- 日時：平成25年6月16日（日）13:00～14:00
- 場所：沖縄大学2号館 2-306 教室
- 出席（役員）：中野義勝、西平守孝、エコガイドカフェ（猪澤也斗志）沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）、自然保護課（富永千尋、多良間一弘）、環境省那覇自然環境事務所（小口陽介）、沖縄リーフチェック研究会（安部真理子）、NPO 法人グローイングコーラル（上原直）、後藤亜樹、宮古島マリリゾート協同組合（新村一広）、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、WWF ジャパン（権田雅之）、沖縄県衛生環境研究所（金城孝一）
- 委任状：木村匡、コーラルクエスト（岡地賢）、桜井国俊、中谷誠治
- 事務局長：沖縄県環境生活部自然保護課（神谷大二郎）
- 運営委員：沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 議事録署名人：後藤亜樹

理事会構成員23名中、上記13名の出席者（会長、副会長、理事10名、事務局長）および4名の委任状により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。
議事録署名人として後藤亜樹理事が選出された。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

（1）事務局からの報告（資料1）

①第12回理事会提案事項にかかる対応について

- ・事務局から提案された以下の審査員候補者が承認された。
 - 相原百合（那覇自然環境事務所）
 - 富永千尋（沖縄県自然保護課）
 - 権田雅之（WWF ジャパン）
 - 案納昭則（沖縄県ダイビング安全対策協議会）
 - 後藤亜樹
 - 岡地賢（コーラルクエスト）
- ・審査会長を今回承認された審査員より選出する必要があるため、審査員と調整し審査会長を決定することとなった。
- ・事務局より応募様式（案）の提案があった。応募様式は最終的に審査会にて決定することとなった。

- ・審査要領（案）について以下の意見があった。
5段階で評価を行うのは審査員が大変。
審査項目の「⑧その他特記事項」は必要ないのではないか。
審査要領について決定できるものはこの理事会で決めたほうが良い。
評価項目についての5段階評価の記述の「優れたものから」という部分は誤解される可能性がある。
5段階評価の認識については統一すべきである。
- ・審査要領（案）について以下の点を修正することとなった。
審査項目の「⑧その他特記事項」という部分は削除する。
評価項目についての5段階評価の「優れたものから」という部分は削除する。
評価は応募のあった中から相対評価で実施する。
募集要項には1件あたりの限度額を記載する。

②企画委員長の任命について

- ・権田理事が会長から企画委員長として任命された。

（2）第6回総会について（資料2）

①議事の確認

- ・第6回総会の議事の確認を行った。
- ・総会で選出する議長の候補は、吉田稔理事、後藤亜樹理事となった。
- ・総会で選出する議事録署名人の候補は、富永千尋理事となった。

（3）その他

- ・アラムコ助成事業の開始時期が毎年遅く、募集要領のとおり実施しているため、支払が年度をまたがるなど会計報告が分かりづらくなっている。募集開始時期について、総会で承認をもらう前に実施できるよう今回の総会で承認を得るようにしたほうが良い。
→第13回理事会でも話された内容であるが今回はその準備をしていないため、運営委員会で検討することとなった。
- ・第5回総会で役員任期について規約を改正すべきとの議論があった。理事会でそれについてまだ十分な議論がされていない。役員任期について理事会で検討することとなった。
- ・会員相互の交流は協議会の大きなミッションである。今後交流会をどのように発展させるか理事の皆さんに考えてほしい。
- ・助成事業は10万円程度の小口にして多くの団体へ支援し、助成活動者の発表の場を設けることがよいと思う。そのようにすれば、多くの会員が協議会に参加すると思う。
- ・アラムコの助成事業は今年で終わりなので、今後は協議会を支援していただく資金の確保が課題である。